

---

黒

聖美

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

黒

### 【Nコード】

N7862H

### 【作者名】

聖美

### 【あらすじ】

人間とは、人とは、自分とは。色々なことが入り乱れているこの世界で……

嘘

いつも少しの嘘をつく。

物事がうまく運ぶように、小さな嘘を沢山つけてしまう。

悪いなんてぜんぜん思っていない。相手に対して特に影響を与えてしまふレベルではないか

ら。右から左に流れていってるくらいの軽い嘘。もう、当たり前になってしまってる。

嘘をつくことで、柔軟に生きて行けるのだと思っている。

何だか薄っぺらい。

魅かれるもの

綺麗なものにばかり魅かれてしまうのは何でだろう。

自分は自慢できるような存在ではないのに、いつも輝いていて綺麗なものに魅かれてしまう。

でも、魅かれるだけでそれ以上は何もない。自分の中で始まって、自分の中で簡潔して終わ

る。

決して表に出すことはしない。それが一番、楽だから。

自分には無いものに魅かれて、うらやましいと思い、ねたみ、自分とは違うんだと諦める。

いつも同じ終わり方。手を伸ばそうとはしなくなった。

いつからだろ。こんな人間になってしまったのは。もっと楽しい生き方が他にあるはず

だと思うのに。自分中心の楽な生き方を選んでしまう。

強がってる自分も結構疲れてきた。

もう、楽な生き方からは逃れられないのかもしれない。

母

母は幸せだったのだろうか。

今は幸せなのだろうか。

母が今でも眠れないのは昔に負った傷が原因だからなんだろう。

はつきり言って、いい暮

らしではなかったし、母はいつも仕事でいなかった記憶が今でも残ってる。

小さい頃、母は私や兄よりも他人の子を良く褒めていた。

なぜなんだろう。今でも分からない。私たちのことが嫌いだったのか、それとも自慢できる

ような子供ではないからそう言っていたのか。

母の思っていることは分からなかった。

きつと、後ろめたい思いがどこかにあったのかもしれない。

一人で私と兄を育てるのにはかなりの体力と精神力が必要だったんじゃないだろうか。

母は、何を思って私たちを育てていたんだろう。 自分の人生の半分以上を私たちの為に使っ

てくれた母に、私は何ができるんだろう。

今でも優しい母に私は何ができるんだろう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7862h/>

---

黒

2011年1月15日15時15分発行